

特集

看護技術教育に「安楽」の視点を！
「形」「型」「可」から考える基礎技術に必要な形・型・可 川嶋みどり
技術教育にいま足りないもの

——ロールモデルとしての姿勢から 水澤晴代

技術教育における安全と安楽の一体化

——技能訓練の基礎 水戸優子

技術教育のなかの看護観

——なぜそうするのかを見直す 阿保順子

【新連載】

笑いの伝道師 W マコトのコミュニケーション革命！・1 W マコト

臨床教育学 わからないこととの出会い・1 遠藤野ゆり

看図アプローチへの招待・1 鹿内信善／徳永基与子ほか

【連載】

アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・10

成瀬和子

宮子あずさのエキサイティング Writing・13 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・21

斉藤奈緒美／石川雅彦

編集後記

●今回特集で取り上げた、シラバスやカリキュラムを「見える化」するという試みは、教育全体を見回しても始まったばかり。看護教育の場で正式に取り入れている学校、大学はまだないでしょう。ただ、しばらく前までは、教員それぞれがシラバスをつくるという習慣がなかったことから考えると、この「見える化」の流れは、教育の世界で案外早く定着するかもしれません。●「見える化」すれば、文字情報のみだったときよりわかりやすくなります。そして、わかりやすくなるということは、たとえばそこに潜む矛盾点や無意識に先送りしていた不都合などが明らかになってしまう、そんな可能性が増すことでもあります。けれども、恐れることはありません。そこにある「問題」に気づき、それらを指摘できる学生が育つことこそが、教育の成果であるはずだからです。

……大野
●人に聞いた話ですが、昨今 IT では、「ディープラーニング」が盛り上がっているようです。人工知能が人間を超える瞬間いつかやってくる「シンギュラリティ」の到来に近づいた、ともされています。詳しくは、私の理解も非常におぼつかないですが…コンピューターが自ら、概念を認識する「特徴量」を自ら構築していく、自分で勝手に学んでいくシステムとのことで、今は画像認識などでの使用が進んでいるらしいです。●今特集に当てはめれば、もしかすると、今のシラバスを読まれば、コンピューターがカリキュラムマップを自動生成してしまうかもしれません。ただ、座談会でもありましたが、ああでもない、こうでもない、と特徴を考えていく段階に「学び」があるのも事実です。これを強調したい、こは欠かせない、と見定めるプロセスは、テクノロジーのうえでは、ものすごく高度なことなんですね。

……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第56巻 第12号 2015年12月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2015年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/15/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は、株式会社医学書院の登録商標です。

Vol.56 No.11

2015年11月
特集

学生の答え、ちゃんと待てますか 今こそ知りたいファシリテーションの心構え

日本では90年代以降、「ファシリテーション」という言葉が急速に流行しました。企業での会議やワークショップなど、「話し合い」が必要な場において、参加者のより活発な議論、意思決定のために必須のスキルとみなされています。その後、教育界で、アクティブラーニング、学習者主体の教育、というパラダイムシフトが叫ばれ始めることに連動し、看護教育でも、グループワークやシミュレーション教育など、教員がファシリテーターとしての役割を求められる機会は増えてきました。しかし、教員が想定して実践している「ファシリテーション」は、本当に学生の思考を促し、自発的な思考を促すものになっているのでしょうか。形式的なアクティブラーニングであっても、実際は教員の想定する答えに導く介入をしていないでしょうか。今特集では、看護教育の現場において、ファシリテーター型の教員が重要である理由、学生が自らの思考を語ることを「ちゃんと待つ」とはどういうことか、ファシリテーターとしてあるべき姿勢と、実際の「ファシリテーション型授業」の取り組みを紹介します。

- 教師像の転換 「教える」からファシリテーションへ……………石川一喜
- 看護教育にファシリテーションを導入しよう!……………内藤知佐子
- 学生が安心して参加できる場づくりと深い学びを引き出すファシリテーション……………渡邊奈穂
- 答えはみんなのなかにある 対話型鑑賞法を通して……………伊達隆洋
- 正解を決めていない授業のありがたさ——医療・看護における対話力とは……………小林正弥
- 「かかわる」を考える 教えるとファシリテーションの間から……………西村佳哲



Vol.56 No.10

2015年10月
特集

あらためて How to ロールプレイ!

ロールプレイは、演習、実習がある医療教育において効果を発揮します。傾聴を理解するため、患者さんや家族の気持ちを理解するため、身につけた技術が活用できるかを確かめるため、さまざまなケースでロールプレイは用いられています。いわゆるシミュレーションや体験学習の事例のなかにも、ロールプレイと呼んでもいいものも珍しくありません。OSCEにおける模擬患者の活用も、ロールプレイ以外の何物でもありません。しかし、皆さんはロールプレイを「教育方法」としてきちんと認識し、取り入れているのでしょうか? 「ごっこ」遊びの延長になっていないでしょうか? 自分が学生のときに授業で用いられたのをまねただけで、用いていないのでしょうか? 今回の特集は、ロールプレイの教育における本質をあらためて見直したうえで、教員自身とプロの俳優にロールプレイを行っていた様子や映像を紹介することによって、どこにポイントを置いて指導すれば、より効果があがるのかを再考する参考にしていただこうと組まれたものです。さらに、ロールプレイを含む演劇が、看護教育にいかに関与つかも、演出家に語っていただきました。人と接することを大事に考える看護は「役割を演じる」ロールプレイとは、とても親和性があります。だからこそ、その本質と効果を理解したうえで、教育に取り入れていただきたいと思います。ロールプレイは、教員にも学生にも「アクティブ」で「おもしろい」もの。楽しく有意義なロールプレイが広がることを期待しています。

- >>「同じ条件での3パターンのロールプレイ」動画集(看護師のためのwebマガジン「かんかん」)に掲載、URLは右下に)
- ロールプレイの可能性と注意点……………古見文一
 - 医療教育におけるロールプレイ再考と糖尿病劇場の試み……………岡崎研太郎
 - 【Web 連動企画】同じ条件での3パターンのロールプレイ ロールプレイを実践する学生のための事前レクチャー……………高塚由香里
 - ロールプレイの実践……………有馬葉子他
 - 【Web 連動企画】【座談会】ロールプレイで学べるものを体験してみよう……………屋宜譜美子他
 - 演劇から学べるさまざまなこと ロールプレイを入口として……………運行



<http://igs-kankan.com/article/2015/09/000991/>

【2015年9月号(Vol.56 No.9)】

「看護研究」で
実践力を鍛える

【2015年6月号(Vol.56 No.6)】

「つまらない」授業よ、
さらば!

【2015年8月号(Vol.56 No.8)】

グループワークを
「本物」にしよう!

【2015年5月号(Vol.56 No.5)】

「やってくる」事前課題を
つくろう!

【2015年7月号(Vol.56 No.7)】

看護過程再考

【2015年4月号(Vol.56 No.4)】

本当に伸ばすための
コミュニケーション教育

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2013年10月号(Vol. 54, No.10)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2013年11月号(Vol. 54, No.11)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお願いします。